

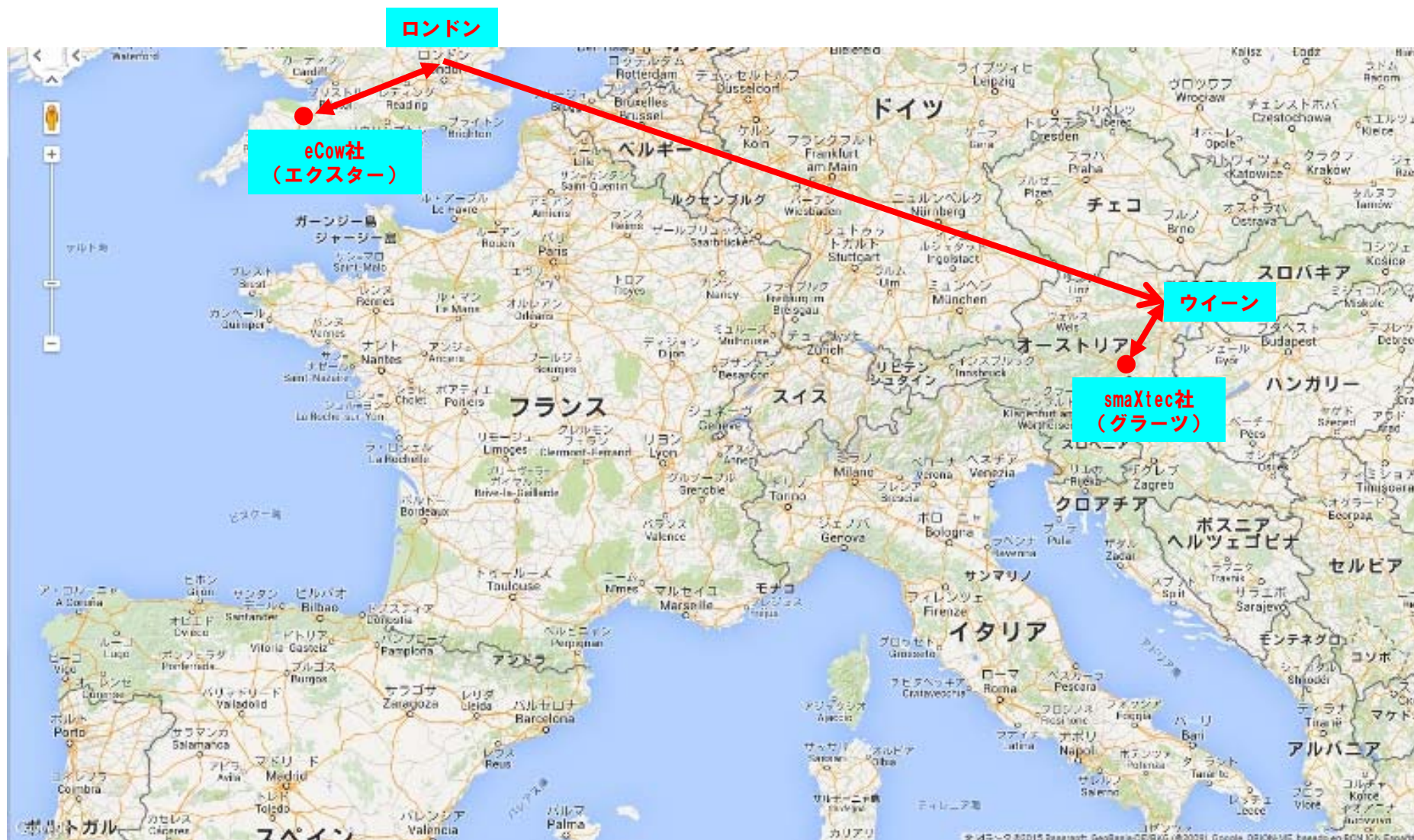
欧州ルーメンセンサ調査報告

【調査期間:2015年1月22日(木)~ 1月23日(金)】

畜産センサ研究コンソーシアム

【代表機関:国立研究開発法人農研機構 動物衛生研究所】

(一財)マイクロマシンセンター MEMSシステム開発センター長
武田 宗久





SIP畜産センサ

e-Cow社とsmaXtec社の比較



(1) eCow社(英国、エクスター)

- ・設立 : 2007年
- ・従業員 : 6名
- ・CEO : Prof. TOBY MOTTRAM
(ROYAL AGRICULTURAL University)
- ・製造形態: **家内工業的**
- ・出荷先 : オーストラリア、アメリカ、ブラジル、イギリス、フランス、中国等
25~30カ国の研究機関中心
- ・出荷台数: 1000台以上(現在稼動約250台)



事務所入り口



TOBY MOTTRAM教授と製品のサンプル

(2) smaXtec社(オーストリア、グラーツ)

- ・設立 : 2009年
- ・従業員 : 10名
- ・CEO : Stefan Rosenkranz
- ・製造形態: **パートナー企業に委託**(グラーツから20km)。量産化可能
- ・出荷先 : ヨーロッパ中心にアメリカ、カナダ、中国の研究機関および生産農家
- ・出荷台数: 2015年は20,000台

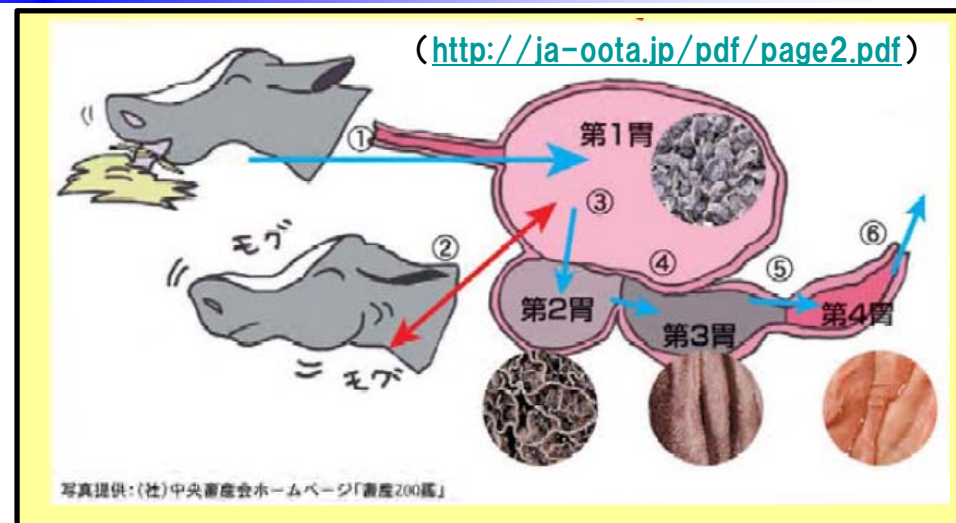


事務所入り口



製品ラインナップ

(左から気象センサ、センサ出荷ケース、ベースステーション、pH&温度センサ、温度センサ)



TOBY MOTTRAM教授が挿入治具を持ったところ



smaXtec社の挿入治具



smaXtec社のセンサ挿入の様子

http://support.smaxtec-animalcare.com/tiki-index.php?page=en_smaXtec+pH+%26+Temp+Sensor



社長室のeCowのロゴの前での集合写真



smaXtec社会議室の看板の前で Mario Fallast氏と

**本調査は、総合科学技術・イノベーション
会議のSIP(戦略的イノベーション創造プロ
グラム)「次世代農林水産業創造技術」(管
理法人:生研センター)によって実施したも
のである。**